

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2019年
2月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 小南 晃

印刷所
文明堂印刷所

感謝と喜びの人生へ

司祭 ミカエル 杉野 達也



十字架を背負う

イエス様の誕生をお祝いする12月25日クリスマスのから40日目(2月2日)の「被献日」です。ヨセフとマリアが幼子イエス様を神様に献げるためにエルサレム神殿にお参りに来た日です。そのことが、ルカ福音書2章22節〜38節に記

されています。私にとって2月2日は、婦人会の日という印象が強いです。婦人会の総会が行われる教会もあると思います。それは、1926年第7回総会において2月2日の被献日を日本聖公会婦人会補助会の創立記念日と定め、聖餐式を行い、そこで献げられた信施を「婦人献身者」のために用いることを定めたからです。

シメオンが待ち望んでいたもの

年老いたシメオンは、エルサレム神殿において幼子イエス様と出会います。その時彼は、「主よ、今こそあなたは、

お言葉どおり、このしもべを安らかに去らせてくださいます。わたしはこの目であなたの救いを見たからです。」と述べています。これは、「神様、私は満足です。もう安らかに去ることが出来ます。」と言っているようなもので、深い満足と喜びを表しています。彼がこのような言葉を言えたのは、彼がずっと待ち望んでいたものが神様から与えられたからです。それが幼子イエス様でした。彼は、たまたまイエス様と出会えたのではなく、「霊に導かれて」神殿に來ていたので。そして、「イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた」と書かれています。ことから、おそらく彼は神殿で毎日毎日イスラエルが慰められるのを祈りながら、待ち望んでいたのです。「イスラエルが慰められる」

とはどういうことなのでしょうか。

イザヤ書51章3節には、「主はシオンを慰め、その廃墟を慰め、荒れ野をエデンの園とし、荒れ地を主の園とされる。そこには喜びと楽しみ、感謝の歌声が響く。」とあります。つまり荒れ野がエデンの園のようになり、荒れ果てた所に喜びと楽しみ、感謝の歌声が響くようになり、荒れ果てて命の失つているところに神様から命が与えられ生き返るということです。どうして荒れ野、廃墟となったのかと言うと、それは神様への背きという自分たちの罪のゆえに廃墟となっていたのです。そうすると「慰められる」とは、人間が自分の欲に目を留め、神様から目を背けたという罪のゆえに荒れ果ててしまった現実に神様が働きかけ、命をもたらす、回復してくださるという意味になります。罪の赦し無くして「慰められる」とは無いのです。つまり慰められるとは、人間が神様に目を向け直す事によって罪が赦され、神様との交わりが回復するということなのです。シメオンは、全ての人が神

様に目を向け、神様の方を向き直すことができるように長い間祈り、願っていたのです。そしてイエス様こそが、彼がずっと待ち望んでいたことであり、ようやく神様が私の願いに目を留めて下さったことを知り、神様に感謝をし、喜んで賛美をし、感謝と喜びの人生へと変えられたのです。

主の救いを待ち望む

私たちの人生や周りには、様々なことが起こります。嬉しい時、楽しい時、悲しい時、辛い時、悩みの時、迷いの時、いつでも神様に目を向けたい、心を開きたいと思えます。自分だけではなく、皆が神様に目を向けることができるように祈り願いたいものです。そんな時、神様は私たちに目を留め、慰めてくださるので。そして、いつでも神様が私たちのために良きものを与えてくださっていることを感謝したいと思えます。それによって、私たちは感謝と喜びの人生へと変えられる、そう信じています。

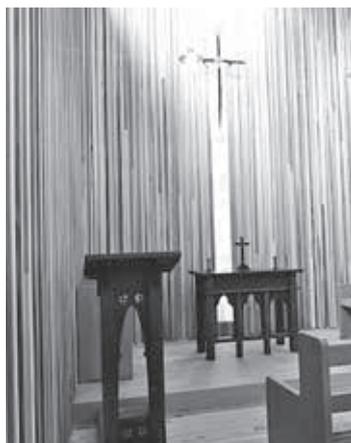
松江基督教会牧師・米子聖ニコラス教会副牧師・境復活教会管理牧師

収穫感謝献金報告

皆様方からお献げいただきました。収穫感謝献金を心より感謝すると共に、広瀬基督教会についてお話しさせていただきます。

皆様と皆様に支えられ、2017年3月12日に新礼拝堂が聖別・献堂されました。その後、山陰伝道区の諸教会のご協力をいただき、近隣教会との合同礼拝や日曜学校の交流会などを行ってきました。また毎年3月には、広瀬町のお雛祭りに参加させていただいていますが、今年はテレビ取材を受け、地域に広くPRすることができました。更に長く現在堅信受領者は3名でしたが、2017年のクリスマスに8名の方が受洗され、2018年は3名の方が堅信式を受けられたので、皆様のお恵みのもと教勢も少しずつではありますが伸びている兆しがあります。私たちは小さな教会ですが、「山陰は一つ」を合言葉に伝道区内の諸教会が支えてくださいます。

で、これからも教会の賜物を活かし、近隣教会と協働して宣教の働きを行っていただけることを願います。



この7つの特徴を活かし、小さな結婚式やコンサートなど多くの方が教会に足を運ばれる教会の働きを考えています。また資金的にも助けになるようなアイデアを募集しています。私たちの教会は、まだまだ小さな群れではありますが、日々祈りつつ、皆様からお献げいただいた収穫感謝献金が神様の働きとして活かされ、地域と共に

【広瀬基督教会7つの賜物】

- ① 松江バンドの指導者バークレー・バックストン司祭愛用の説教壇
- ② 1898年印刷の保存状態の良い美しい聖画
- ③ たたら職人作の十字架と燭台
- ④ 2018年3月8日「しまね住宅・建築コンクール」で最優秀受賞
- ⑤ 広瀬の職人と材料にこだわった教会
- ⑥ 美術館の街「広瀬」を意識した教会
- ⑦ 120年以上も町の中心地にあり、広瀬町で唯一のキリスト教会

協働する教会を目指していきたいと願っています。これからも祈りのうちに覚えていただければ幸いです。

司祭 瀬山会治・
広瀬基督教会管理牧師

神学生冬の実習報告

12月15日から26日まで、松江基督教会、米子聖ニコラス教会を中心に、山陰地方のいくつかの教会で冬の実習を行いました。沢山のひとと出会い、それぞれの教会の今を知る良い体験になりました。

松江基督教会では、日曜日

の聖餐式の後、クリスマスの準備をしながら交流を深め、境港の聖心幼稚園では園児たちと共に遊び、お茶のお稽古の時間を一緒に過ごしました。園児からお茶の作法を教わりながら、子どもたちの成長の素晴らしさを見ることが出来ました。境復活教会では、バックストン司祭のサインが入った聖書を見させていただき、歴史の上にも今があるこ



とを垣間見ることが出来ました。米子の良善幼稚園では、丸一日園児たちとともに過ごし、職員ではない立場で園児と関わることによって職員ではないからこそ出来る関わり方を子どもたちから教わりました。特に一人の園児に対し

て長い時間を提供できたのは、一時的な関わりだから出来たことだと思います。鳥取聖ルカ教会では、2年前に青年交流会のワークキャンプで行なったペンキ塗りや教会の補修ワークについてふり返りながら、クリスマス祝会を楽しみ、鳥取聖ルカ教会の今を知ることが出来ました。米子聖ニコラス教会では、幼稚園のお父さんたち(OBも含む)の会で一緒に夕食を食べ交流を深め、米子のパパたちの今を聞きました。クリスマスイブ礼拝、クリスマス礼拝では多くの方々と共に過ごし、子どもたちの聖劇や歌を聴き、幼稚園のある教会の今を体験することが出来ました。広瀬基督教会ではクリスマス礼拝を行い、広瀬という地に建つ教会を初めて見て聞いてそして奉仕して、建て替えるに至る奇跡物語に触れました。それぞれの教会や施設のいまを知ることによって、神戸教区の今を知り、これからの歩みの糧としていきたいと思っています。

聖職候補生 宮田裕三・
ウイリアムス神学館3年生

オーガスタのまなざし



主 教 小 林 尚 明

巡回と信徒訪問

12月16日(日)の下関聖フランシス・ザビエル教会の巡回のため、前日に下関に入りました。老人施設に入り、1年ぶりの男性信徒を訪問し、お祈りを献げました。

翌主日礼拝で、司式、説教を行いました。お会いできなかった退任道師の津口和子先生の元気なお姿にもお会いでき、「主教官さん、教区のために頑張ってくださいよ」と激励されました。心のこもったフグの昼食を頂き、楽しい交わりの時を過ごさせて頂きました。その後、水藤創信徒奉事者の車で2名の方の訪問をし、それぞれお祈りを献げることが出来ました。

訪問依頼

12月18日(火)神戸教区元婦人会長の方から、当時の役員さんの訪問に一緒に行ってもらえないか、と依頼

されて、妻と共に参りました。その方の牧師さんから「写真と一緒に撮って送ってください。私が訪問した時も写真をお嬢さんに送るんですよ」と頼まれ、みんな「チーズ」。撮った写真を牧師さんに送りますと、その日のうちに、お嬢様からお礼のメールが届きました。お母さまの笑顔を感謝されていきました。

オリンピア西

12月24日(月)午前中、明石市にある高齢者総合福祉施設オリンピア西を訪問しました。施設長の西川晃さん(明石教会信徒)からクリスマス礼拝の招待を頂きました。礼拝は明石の原田佳城司祭が司式とお話をされました。私は礼拝の最後で『靴屋のマルチン』の紙芝居をさせて頂いていただきました。職員の方を含めて、約30人の礼拝でした。今年この施設には三度目の訪問です。ここには聖ミカエル教会や明石の信徒の方が入所されていて、私も覚えて頂いていて、礼拝後、少しの時間でしたが親しくお話をさせて頂いていただきました。最前列で参加されていた方が、次の日の降誕日に、車椅子で大聖堂の礼拝に来られていました。私の方が感激いたしました。感謝です。

(神戸教区主教)



神戸聖ヨハネ教会の今

神戸聖ヨハネ教会は、2019年に創立93年、あと7年で創立100周年の歴史の節目を迎えようとしています。

2018年のクリスマス礼拝の集合写真を御覧頂いてもおわかりのように、子どもから高齢者まで、各世代のバランスがよくとれた現在の教会の姿です。



附属施設を有しない教会ですが、司祭の学校チャプレン勤務、聖書科教諭&YMCA職員信徒の在籍、という関係で、生徒・学生たちの礼拝出

席&バザー協力など、関係学校(殊に松蔭女子学院&八代学院)との繋がりが深く、人材面、財政面も牧師協力金など、現在の神戸聖ヨハネ教会の大きな「宣教」の支えになっています。又、聖ミカエル兵庫幼稚園との交わりも、クリスマス礼拝・卒園生の聖堂訪問の定期行事によって継続されています。

教会委員会の構成も、女性が半数を占め、教会の意志決定にも、共同体メンバーの意志が公正に反映されており、また一部の信徒に長い間、重い責任を負わせないように教会委員お休み規定も順調に運用されています。フェイスブックによる情報発信(信徒管理人による責任管理)も好評で、「開かれた教会」として多くの方々と教会の今の情報を共有しています。又、この数年の間、2人の神学生(永野・宮田)の推薦教会の役割も果たしました。

奉仕グループとしては、オリガニスト5名、オルターギルド4名、ヨハネうどん(香川県からのお取り寄せ汁&かき揚げがおいしい)6グループ、お仕事会「天使の羽根」、祭壇献花、お誕生ハガキ、福音唱歌を歌う会、信徒奨励主日(第5日曜日)、大祝

日持ち寄り祝会、震災記念行事(チャリティYOSENA BEコンサート)、恒例の秋のバザーなどが、各々、信徒による自主的企画・運営がなされており、牧師の大切な役割は余計な口出しをして信徒の邪魔をしないこと、という、ありがたい現状です。



今春からの人事異動で、神学生(執事)司祭時代を主日勤務として奉仕された坪井智司祭(松蔭中高チャプレン)が当教会から「卒業」となり、従来の司祭2名の主日礼拝から、現任の藤井司祭の1名体制での新たな教会の歩みが始まります。やがて来る、教会創立100周年の日、神戸聖ヨハネ教会はどのような家族として成長しているのでしょうか。すべては福音のためという大原則を守りながら...

鳩だより 《敬称略》

祝 洗 礼

12月23日(日) 田北 枝美子
ソフィア 神戸昇天教会

12月23日(日) ニコラス 龍田 武彦
マルタ 龍田 たかみ
姫路顕栄教会

12月23日(日) 聖母マリヤ 西條 正子
徳島インマヌエル教会

初 陪 餐

12月23日(日) ソフィア 田北 枝美子
神戸昇天教会

12月23日(日) ニコラス 龍田 武彦
マルタ 龍田 たかみ
姫路顕栄教会

12月23日(日) 聖母マリヤ 西條 正子
徳島インマヌエル教会

ご 逝 去

12月1日(土) トマス 毛利 末則
明石聖マリヤ・マグダレン教会

12月16日(日) 福山 和子
洲本真光教会

教 籍 移 動

12月12日(水) シエナのカタリナ

田中 成子
横浜教区藤沢聖マルコ教会より
鳥取聖ルカ教会へ

12月31日(月) クララ 吉谷 かおる
岡山聖オーガスチン教会より
北海道教区札幌キリスト教会へ

公 示

救主降生2018年12月11日
日本聖公会神戸教区
主教オーガスチン 小林尚明
下記のように人事異動を発令し
ます。

司祭ヨハネ角瀬克己
2019年3月31日付
定年により退職とする

司祭バルナバ瀬山会治
2019年3月31日付
米子聖ニコラス教会
牧師の任を解く

鳥取聖ルカ教会
管理牧師の任を解く
広瀬基督教会
管理牧師の任を解く
2019年4月1日付
神戸昇天教会牧師に任命する

司祭ミカエル 杉野達也
2019年3月31日付
松江基督教教会牧師の任を解く
米子聖ニコラス教会
副牧師の任を解く

2019年4月1日付
米子聖ニコラス教会
牧師に任命する

鳥取聖ルカ教会
管理牧師を委嘱する

山陰伝道区長に任命する

司祭セバスチャン 浪花朋久
2019年4月1日付

松江基督教教会
管理牧師を委嘱する

広瀬基督教会
管理牧師を委嘱する

司祭トマス 河村博之
2019年3月31日付

徳島聖テモテ教会
牧師の任を解く

2019年4月1日付
神戸聖ミカエル教会
副牧師に任命する

司祭ペテロ 中原康貴
2019年3月31日付
神戸昇天教会
管理牧師の任を解く

司祭パウロ 上原信幸
2019年4月1日付

高松聖ヤコブ教会牧師に任命
する(岡山と兼牧)

司祭イサク 坪井 智
2019年3月31日付

神戸聖ヨハネ教会
主日勤務の任を解く

2019年4月1日付
神戸教区大聖堂の主日勤務を
命ずる

聖職候補生ルカ 宮田裕三
2019年4月1日付

司祭ヨハネ 芳我秀一のもと

徳島伝道区勤務を命ずる(住
所は徳島聖テモテ教会)

教区神学生
バルナバ 野間光顕
2019年3月31日付

願いにより教区神学生の身分
を取り消す

司祭ヨハネ 芳我秀一
2019年4月1日付

徳島聖テモテ教会
管理牧師を委嘱する

3月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

日時 2019年3月7日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 小林 尚明
説教 司祭 中原 康貴

3日	司 祭	フレッド	ケテルウエル
6日	宣教師	アリス	ロバーツ
11日	宣教師	アンジェラ	オグレスビー
12日	主 教	ヤコブ	八代 崇
13日	伝道師		明山 せつ
16日	宣教師	エリザベス	ナッシュン
17日	司 祭	エリック	アレクサン
17日	宣教師	フローレンス	ガーデナー
18日	主 教	クリストファー	木川田 一郎
21日	主 教	ヒュウ	フォースト
22日	司 祭	オリバー	ナイト
22日	伝道師	ナオミ	広瀬 なおみ
23日	伝道師	ハンナ	田中 ハナ子
25日	伝道師	エリザベツ	億川 三重
27日	伝道師		中尾 ミサヲ
27日	司 祭	ウォルター	ウェストン
29日	司 祭	ステパノ	袴田 観一
30日	司 祭	ヨハネ	栗飯原 亀一
31日	伝道師	マリヤ	阿部 浄

